

マリー・アントワネットに別れをつけて (2012)

LES ADIEUX A LA REINE
FAREWELL, MY QUEEN

メディア 映画

ジャンル 歴史劇

製作国 フランス／スペイン

色彩 Color

時間 100分

初公開日 2012/12/15

公開情報 ギャガ

映倫 PG12

【キャッチコピー】

世界でいちばん
残酷な、片想い。

【解説】

フランス革命に揺れるベルサイユ内部を、王妃マリー・アントワネットに仕えた朗読系の少女というユニークな視点から綴ったシャンタル・トマによるフランスのベストセラー『王妃に別れをつけて』を映画化した歴史ドラマ。少女を待ち受ける過酷な運命とベルサイユ最期の日々を、実際にベルサイユ宮殿でのロケも敢行した豪華絢爛なヴィジュアルで描き出していく。出演はマリー・アントワネットに「アンノウン」のダイアン・クルーガー、ヒロインの読書係シドニーに「ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル」のレア・セドゥ、共演にヴィルジニー・ルドワイヤン、グザヴィエ・ボーヴォワ。監督は「トスカ」「イザベル・アジャニーの 惑い」のブノワ・ジャコー。

1789年フランス、パリのベルサイユ宮殿。少女シドニーはマリー・アントワネットに本を読み聞かせる“読書係”。王妃に心酔し、彼女のためなら身も心も捧げる気持ちだった。しかし当のマリー・アントワネットは、ポリニャック夫人に夢中。シドニーの前でも夫人への胸を焦がすような恋心を隠そうともしなかった。折しも、宮殿の外ではバスティーユが陥落し、286名のギロチンリストなるものが出回っていた。そこにはアントワネットばかりか、王妃の寵愛を受けるポリニャック夫人の名前も。夫人の身を案じたアントワネットは、読書係のシドニーに夫人の身代わりになるよう命じるが…。

【クレジット】

監督	ブノワ・ジャコー	Benoit Jacquot
製作	ジャン＝ピエール・ゲラン クリスティナ・ラルサン ペドロ・ウリオル	Jean-Pierre Guerin Kristina Larsen Pedro Uriol
製作総 指揮	クリストフ・ヴァレット	Christophe Valette
原作	シャンタル・トマ	Chantal Thomas
脚本	ジル・トーラン ブノワ・ジャコー	Gilles Taurand Benoit Jacquot
撮影	ロマン・ヴァンダン	Romain Winding
美術	カーチャ・ヴィシュコフ	Katia Wyszkop

『王妃に
別れをつ
けて』
(白水社
刊)

allcinema

衣装	クリスティアン・ガスク ヴァレリ・ランシュ	Christian Gasc Valérie Ranchoux	
編集	リュック・バルニエ	Luc Barnier	
音楽	ブリュノ・クーレ	Bruno Coulais	
出演	レア・セドゥ	Lea Seydoux	シドニー・ ラボルド
	ダイアン・クルーガー	Diane Kruger	マリー・ アントワ ネット
	ヴィルジニー・ルドワイヤン	Virginie Ledoyen	ガブリエ ル・ド・ ポリニャッ ク夫人
	グザヴィエ・ボーヴォワ	Xavier Beauvois	ルイ16世
	ノエミ・ルヴォフスキー	Noemie Lvovsky	カンパン 夫人
	ミシェル・ロバン	Michel Robin	
	ジュリー＝マリー・パルマンティエ	Julie-Marie Parmentier	
	ロリータ・シャマー	Lolita Chammah	
	マルテ・コフマン	Marthe Kaufman	
	ヴラジミール・コンシニ	Vladimir Consigny	
	アンヌ・ブノワ	Anne Benoit	
	ドミニク・レイモン	Dominique Reymond	
	エルヴェ・ピエール	Herve Pierre	
	アラダン・レイベル	Aladin Reibel	
	ジャック・ノロ	Jacques Nolot	
	ジャック・エルラン	Jacques Herlin	
	マルティーヌ・シュヴァリエ	Martine Chevallier	
	ジャック・ブーデ	Jacques Boudet	
	ジャン＝クレティアン・シベルタン＝ブラン	Jean-Christien Sibertin-Blanc	
	ジャン＝マルク・ステーレ	Jean-Marc Stehle	
	セルジュ・レンコ	Serge Renko	